

2025 年 5 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社軽自動車館
(コード番号 7680 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 阿部 章一
問合せ先 管理部長 佐藤 哲康
T E L 011-200-0312
U R L <https://www.keijidousyakan.com/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2024 年 6 月 14 日にて公表した 2025 年 4 月期（2024 年 5 月 1 日から 2025 年 4 月 30 日まで）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の業績予想数値の修正（2024 年 5 月 1 日～2025 年 4 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	4,351	50	40	24	474 円 71 銭
今回修正予想（B）	4,181	9	△0	△4	△80 円 65 銭
増 減 額 （B-A）	△170	△40	△40	△28	
増 減 率 （%）	△3.9	△81.4	－	－	
（参考）前年実績 （2024 年 4 月期）	4,255	10	4	4	86 円 69 銭

2. 修正の理由

当期の業績につきましては、中古車販売業界は、半導体供給問題の解消や新車市場の回復、インボイス制度の導入と支払総額表示の義務化により、市場の透明性と信頼性が向上いたしました。不正認証問題により複数の国内メーカーの生産が停止したことによる新車の供給遅れが響いたことや経済的不透明感から消費者の購買意欲が低下したこと等により、新車の販売が苦戦し中古車流通が鈍化し国内軽自動車中古販売台数は 2,835,859 台（前年同期比 99.3%）と前年実績を下回り、当社においても販売台数は 3,549 台（前年同期比 91.0%）と前年実績を下回った結果、売上高は前回発表予想 4,351 百万円から 4,181 百万円に減少する見込みとなりました。

また、仕入コスト上昇分を販売価格へ転嫁し、収益の向上を推し進めましたが売上総利益率は 0.1 ポイント減少する見込みとなりました。また、引続き経費削減に努め、広告宣伝費等の削減を実施いたしました。また、支払手数料・水道光熱費等の販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は前回発表予想 50 百万円から 9 百万円に減少、経常利益は前回発表予想 40 百万円から△0 百万円に減少、当期純利益は前回発表予想 24 百万円から△4 百万円に減少する見込みとなりました。

以上